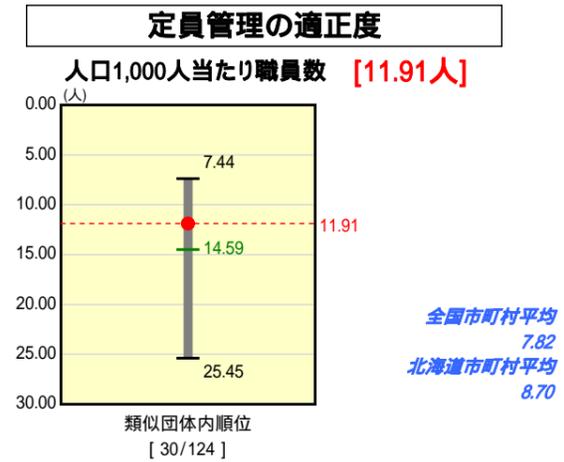
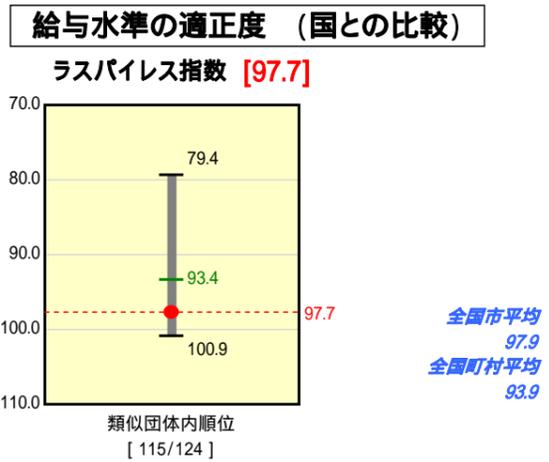
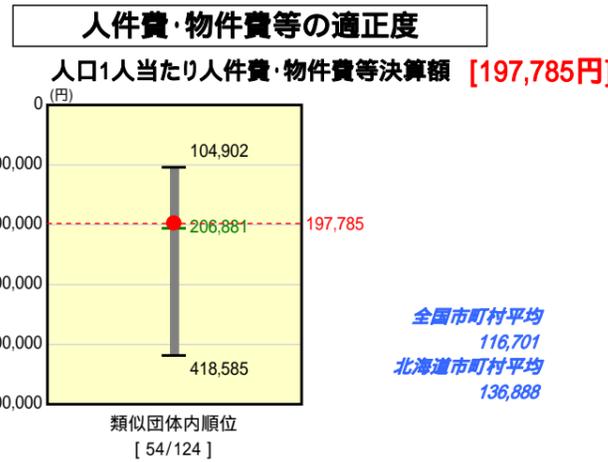
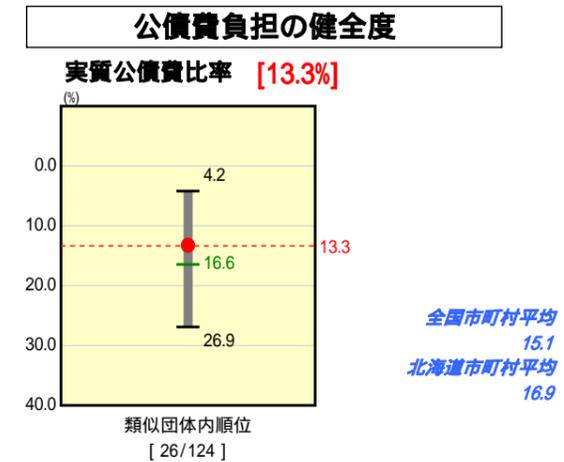
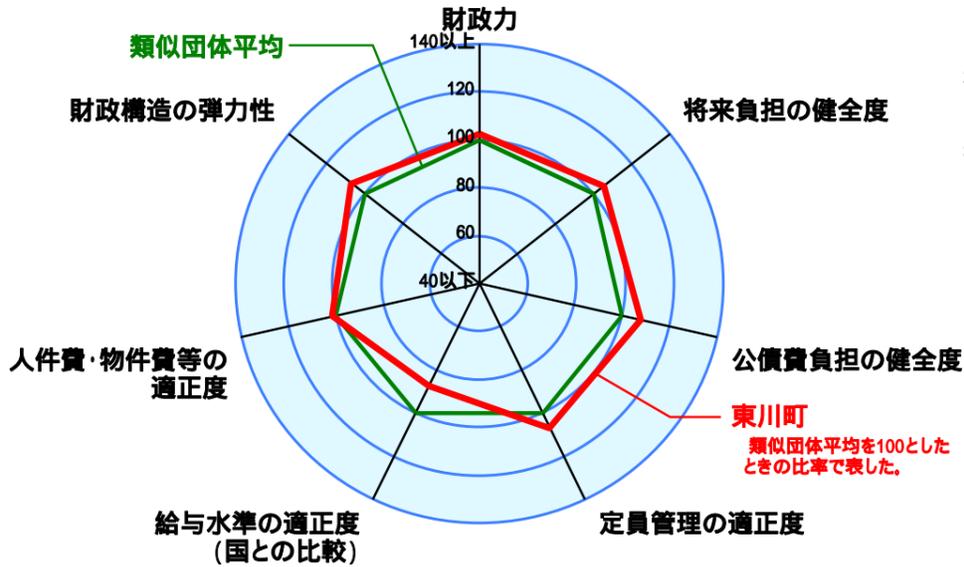
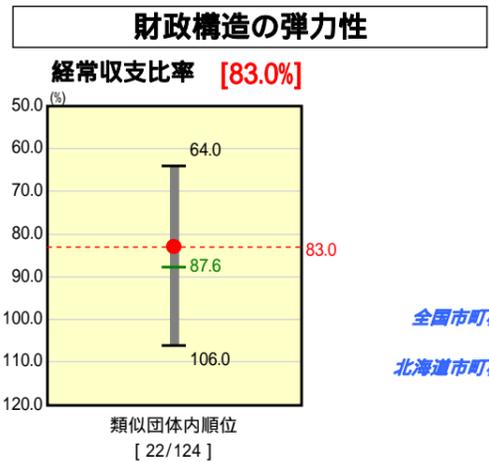
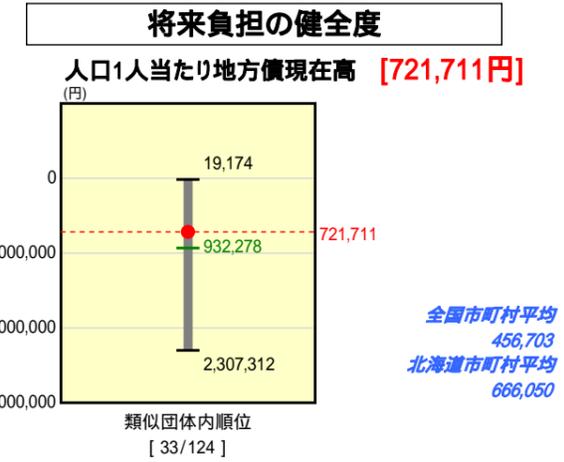
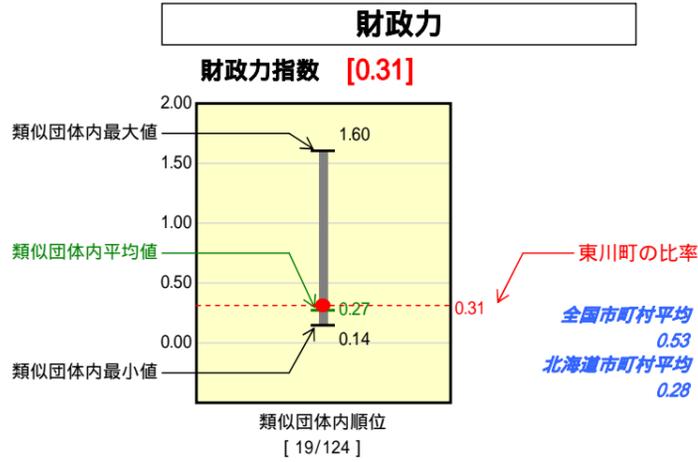


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

北海道 東川町

人口	7,641人	(H19.3.31現在)
面積	247.06	km ²
歳入総額	4,398,394	千円
歳出総額	4,260,740	千円
実質収支	137,654	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数 : 平成13年度から連続した伸びを見せており、税徴収率の向上対策や税源移譲により、収入額が増となっていることから類似団体平均・北海道市町村平均を上回っている。

経常収支比率 : 昨年度と比較し、1.1%上昇しており、中でも扶助費・公債費が増となっている。扶助費については、児童手当制度の拡充や障害者自立支援法の施行により増となっており、公債費については、国庫補助金の一般財源化や交付金化により、特定財源が減となっていることや起債償還のピーク期を迎えていることもあり、1.8%上昇している。

物件費 : 行財政改革により、経常経費の縮減に取り組み、歳出の抑制に努めていることから 1.1%となっている。

人口1人当たり地方債残高 : 現在のところ類似団体平均を下回っているが、プライムタウンづくり計画21-1においては、平成23年度から小学校の建設事業を予定しており、新規の地方債発行(3億2千万)が見込まれることから、他事業における地方債の発行の抑制等により、類似団体平均を上回ることのないように努める。